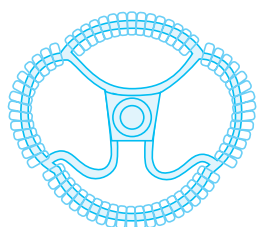


4 IUD (子宮内避妊具)

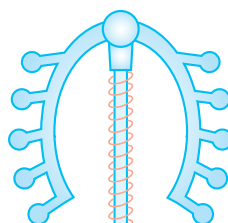
- 子宮内に器具を挿入し、妊娠を防ぐ方法です。
- 一度挿入すれば、性交渉のたびに避妊する必要がありません。
- 避妊効果が高く、女性が主体的に使用できます。
- IUDの挿入・除去は医師が行います。
- IUDは全身への影響が少ないため、ピルを使用してはいけない人や高齢の人にも適しています。
- 妊娠の経験のない人には、IUDの挿入が難しいため適しません。

(1)種類

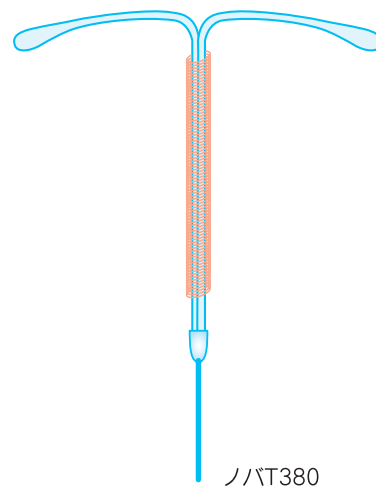
IUDにはいろいろな型があります。最近では「銅付加IUD」といって、小型で避妊効果を高めたものもあります。



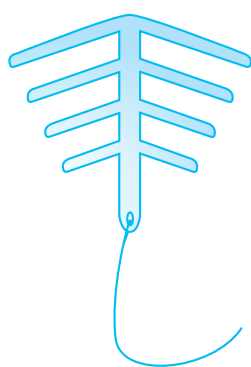
ユウセイリング



マルチロード
Cu250

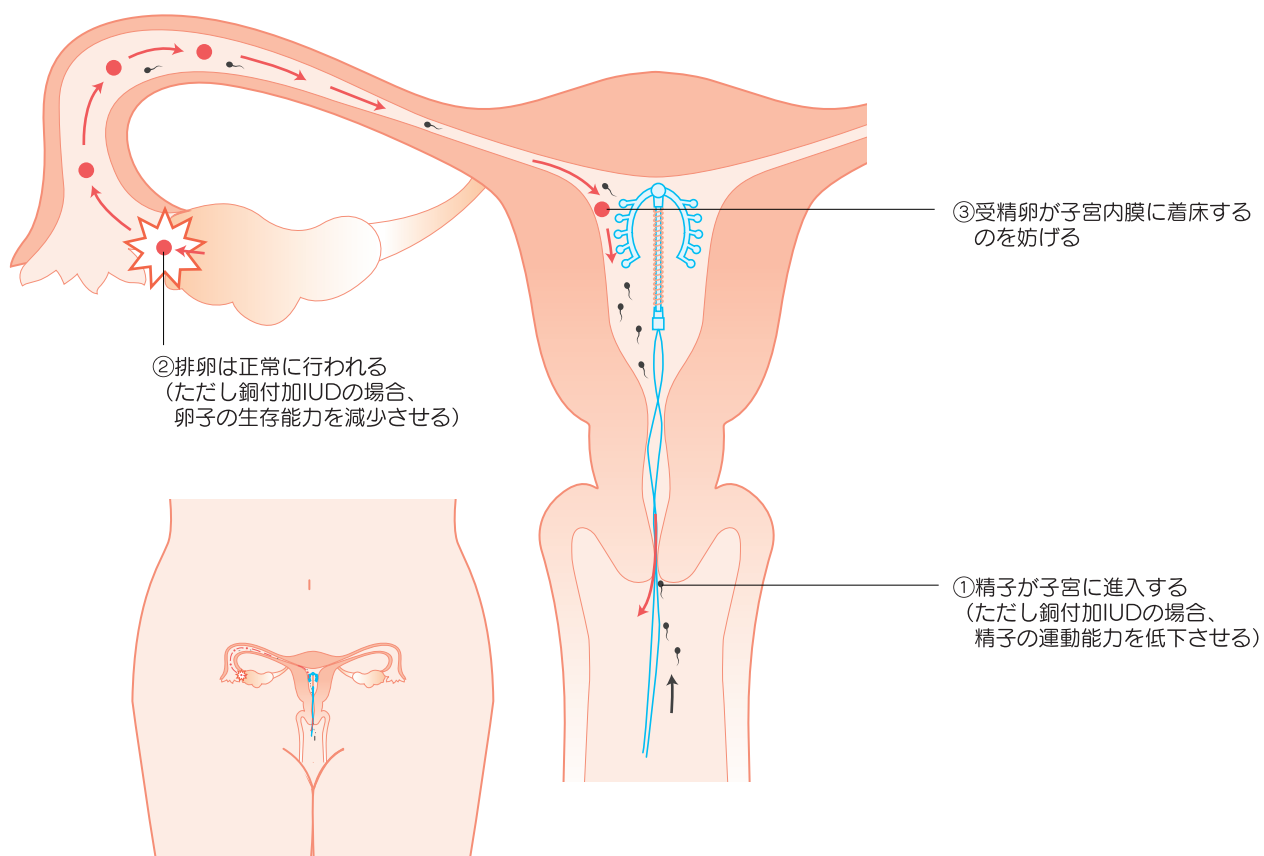


ノバT380



FD-1

(2) 避妊のしくみ



(3) IUDを挿入する時期

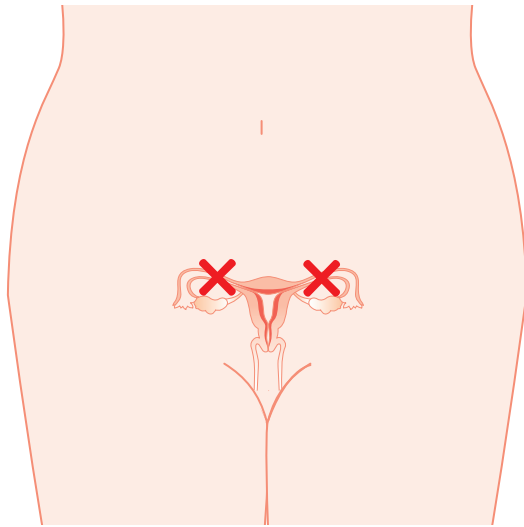
- 通常は、月経がはじまってから7日以内に挿入します。
- お産の後は、子宮の回復（6週間以上）を待ってから挿入します。
- 流産や人工妊娠中絶の後は、その日を月経と見立てて7日以内に挿入します。

POINT

- * IUDを挿入・除去するときには、出血や軽い痛みをともなうことがあります。
- * IUDを挿入してから、出血、下腹痛、腰痛などが1週間以上も続く場合には、医師に相談しましょう。
- * IUDを挿入した後は、とくに異常がなくても6か月～1年ごとに検診を受けましょう。このとき同時に性器がんの検診も受けるなど、自分の健康に留意しましょう。

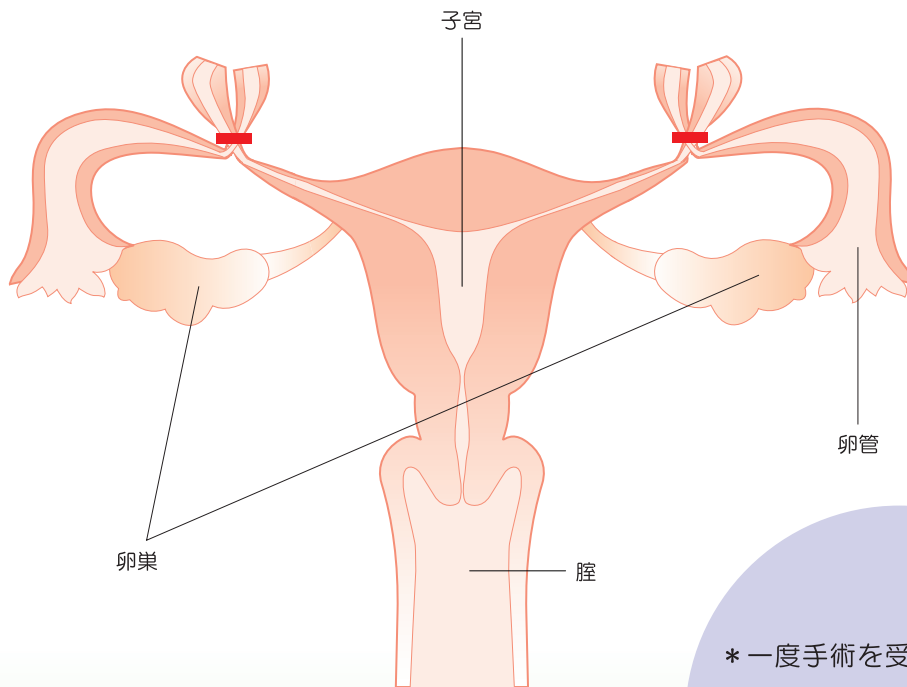
5 卵管結紮術^{けっ さつ}

卵管結紮術とは、卵管を切断し、永久に妊娠しないようにする手術です。手術の方法は、母体保護法という法律によって定められています。



- ①左右それぞれの卵管ごとに結び、結んだところを切り取ります。
- ②卵管に移動した卵子は、切断されたところまでしか送られないので、妊娠することはありません。
- ③精子が子宮から卵管に進んで行っても、切断されたところまでしか進めないで妊娠しません。
- ④女性の不妊手術は、帝王切開時あるいは数日入院して行うのがふつうです。

ホルモンは卵巣から直接血液中に分泌されるので、ホルモンに影響はありません。そのため、手術を受けても女性が男性化することはありません。



*一度手術を受けると復元が困難ですので、手術を受けるかどうかは慎重に検討しましょう。